

令和4年8月1日
相模原市発表資料

令和4年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要について

令和4年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

市内で91件(前年同期比19件増)の火災が発生し、死者は1人(前年同期比2人減)で、負傷者は10人(前年同期比1人増)です。

火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は19,540件(前年同期比2,872件増)、搬送人員は、16,562人(前年同期比1,962人増)で、共に増加となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 消防部 予防課 (火災関係)

042-751-9117

警防部 救急課 (救急関係)

042-751-9142

令和 4 年上半期(1 月～ 6 月)における火災の概要(速報値)

令和 4 年上半期(1 月～ 6 月)に市内で 9 1 件の火災が発生しました。
火災による死者は 1 人で、負傷者は 1 0 人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年同期と比べ 1 9 件の増加

火災件数は 9 1 件で、前年同期と比べると 1 9 件増加しています。

火災種別ごとに見ると、前年同期と比べ、建物火災は 5 1 件で 7 件増、林野火災は 4 件で 4 件増、車両火災は 9 件で 3 件増、その他の火災は 2 7 件で 5 件増となっています。

(2) 出火原因の第 1 位は「放火(疑い含む)」、続いて「たばこ」、「電気機器」

全火災 9 1 件を出火原因別に見ると、「放火(疑い含む)」が 1 7 件(1 8. 7%)で 1 位、続いて「たばこ」が 1 3 件(1 4. 3%)、「電気機器」が 6 件(6. 6%)、「たき火」及び「ストーブ」がそれぞれ 5 件(5. 5%)、「こんろ」及び「配線器具」がそれぞれ 4 件(4. 4%)の順となっています。

(3) 火災による死者は 1 人、前年同期と比べ 2 人の減少

火災による死者は 1 人で、前年同期と比べると 2 人減少しています。

火災種別で見ると、建物火災により亡くなりました。

火災による負傷者は 1 0 人で、前年同期と比べると 1 人増加しています。

(4) 前年同期と比べ建物焼損棟数、損害額は減少し、焼損面積は増加

焼損棟数は 6 1 棟で、前年同期と比べると 1 棟減少しています。

建物の焼損面積は 1, 5 8 1 m²で前年同期と比べると 5 2 5 m²増加しています。

損害額は 2, 0 9 5 万 8 千円で前年同期に比べると 1 億 7, 5 6 1 万 6 千円減少しています。

2 火災概況

項 目		令和4年上半期	令和3年上半期	増 減	
合 計 (件数)		91	72	19	
火災種別	建物	件 数	51	44	7
		面積(m ²)	1,581	1,056	525
	林野	件 数	4	0	4
		面積(a)	17.2	0	17.2
	車 両		9	6	3
	船 舶		0	0	0
	航 空 機		0	0	0
	その他	件 数	27	22	5
面積(m ²)		10,927	2,990	7,937	
原因別	失 火(構成比)		69 (75.8%)	47 (65%)	22
	放火(疑い含む)(構成比)		17 (18.7%)	15 (21%)	2
	不 明(構成比)		5 (5.5%)	10 (14%)	△5
焼 損 棟 数		61	62	△1	
り 災 世 帯		49	57	△8	
り 災 人 員		86	104	△18	
死 者		1	3	△2	
負 傷 者		10	9	1	
損 害 額 (千円)		20,958	196,574	△175,616	

* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

3 出火原因

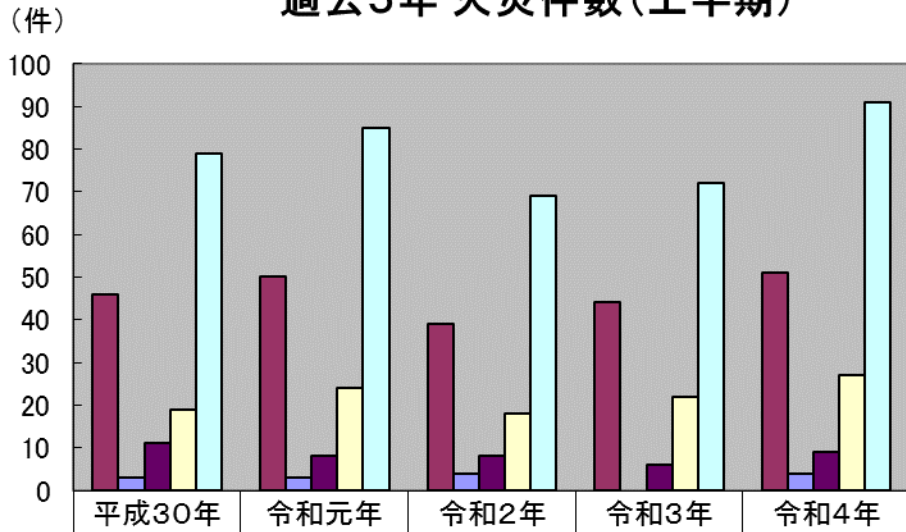
令和4年上半期 91 件			令和3年上半期 72 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	放火(疑い含む)	17 (18.7%)	1	放火(疑い含む)	15 (20.8%)
2	た ば こ	13 (14.3%)	2	た ば こ	6 (8.3%)
3	電 気 機 器	6 (6.6%)	2	こ ん ろ	6 (8.3%)
4	た き 火	5 (5.5%)	3	た き 火	4 (5.6%)
4	ス ト ー ブ	5 (5.5%)	4	電灯・電話等の配線	3 (4.2%)
5	こ ん ろ	4 (4.4%)	4	電 気 機 器	3 (4.2%)
5	配 線 器 具	4 (4.4%)	4	配 線 器 具	3 (4.2%)
そ の 他		37 (40.7%)	そ の 他		32 (44.4%)

* 括弧内は合計件数における構成比

* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

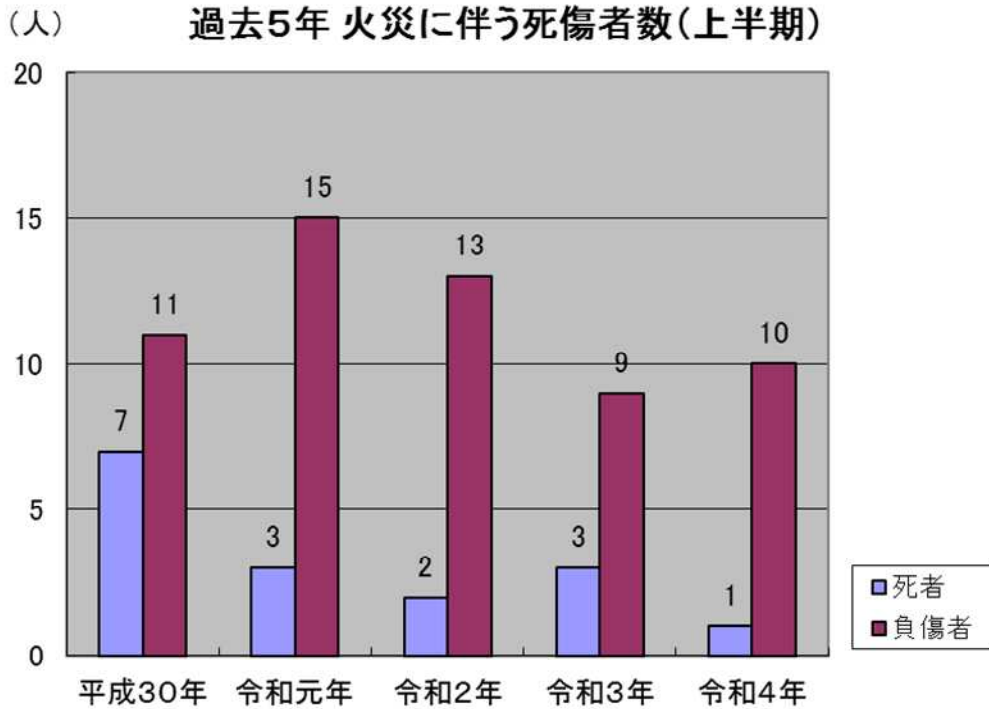
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

過去5年 火災件数(上半期)



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
■建物	46	50	39	44	51
■林野	3	3	4	0	4
■車両	11	8	8	6	9
□その他	19	24	18	22	27
□合計	79	85	69	72	91

過去5年 火災に伴う死傷者数(上半期)



令和4年上半期(1月～6月)における救急の概要(速報値)

救急出場件数は19,540件、搬送人員は16,562人で、共に増加となりました。

1 救急業務の実施状況**(1) 救急出場件数は前年同期と比べ2,872件増加**

令和4年上半期の救急出場件数は19,540件、搬送人員は16,562人で、前年同期と比べ救急出場件数は2,872件、搬送人員は1,962人増加しています。

(2) 救急出場の事故種別の第1位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」(13,055件 66.8%)が最も多く、「一般負傷」(2,743件 14.0%)、「転院搬送」(1,359件 7.0%)、「交通事故」(1,133件 5.8%)と続いています。

(3) 65歳以上の高齢者の搬送割合は前年同期と比べ1.0ポイント増

65歳以上の高齢者の搬送人員は、9,765人(前年同期比1,303人増)で、全体の搬送人員の59.0%(前年同期比1.0ポイント増)となっています。

(4) 軽症者の搬送割合は前年同期と比べ4.8ポイント増

軽症者の搬送人員は、8,160人(前年同期比1,669人増)で、全体の搬送人員の49.3%(前年同期比4.8ポイント増)となっています。

2 救急概要

事故種別 区分		令和4年上半期		令和3年上半期		増減(C) (A-B)	増減率(%) (C/B×100)	
		(A)		(B)				
救急出場件数		19,540		16,668		2,872	17.2%	
傷病者搬送件数		16,489		14,517		1,972	13.6%	
不搬送件数		3,051		2,151		900	41.8%	
事故種別内訳	火災	62	(0.3%)	49	(0.3%)	13	26.5%	
	自然災害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0.0%	
	水難	5	(0.0%)	4	(0.0%)	1	25.0%	
	交通	1,133	(5.8%)	1,127	(6.8%)	6	0.5%	
	労働災害	126	(0.6%)	95	(0.6%)	31	32.6%	
	運動競技	88	(0.5%)	86	(0.5%)	2	2.3%	
	一般負傷	2,743	(14.0%)	2,164	(13.0%)	579	26.8%	
	加害	75	(0.4%)	61	(0.4%)	14	23.0%	
	自損行為	216	(1.1%)	164	(1.0%)	52	31.7%	
	急病	13,055	(66.8%)	10,998	(66.0%)	2,057	18.7%	
	その他	転院搬送	1,359	(7.0%)	1,353	(8.1%)	6	0.4%
		医師搬送	11	(0.1%)	5	(0.0%)	6	120.0%
資材搬送		1	(0.0%)	1	(0.0%)	0	0.0%	
その他		666	(3.4%)	561	(3.4%)	105	18.7%	
搬送人員		16,562		14,600		1,962	13.4%	
性別	男性	8,587		7,720		867	11.2%	
	女性	7,975		6,880		1,095	15.9%	
程度別	死亡	138	(0.8%)	118	(0.8%)	20	16.9%	
	重症	1,444	(8.7%)	1,372	(9.4%)	72	5.2%	
	中等症	6,820	(41.2%)	6,617	(45.3%)	203	3.1%	
	軽症	8,160	(49.3%)	6,491	(44.5%)	1,669	25.7%	
	その他	0	(0.0%)	2	(0.0%)	△2	△100.0%	
活動	ドクターカー使用	71		46		25	54.3%	
	ドクターヘリ使用	5		2		3	150.0%	

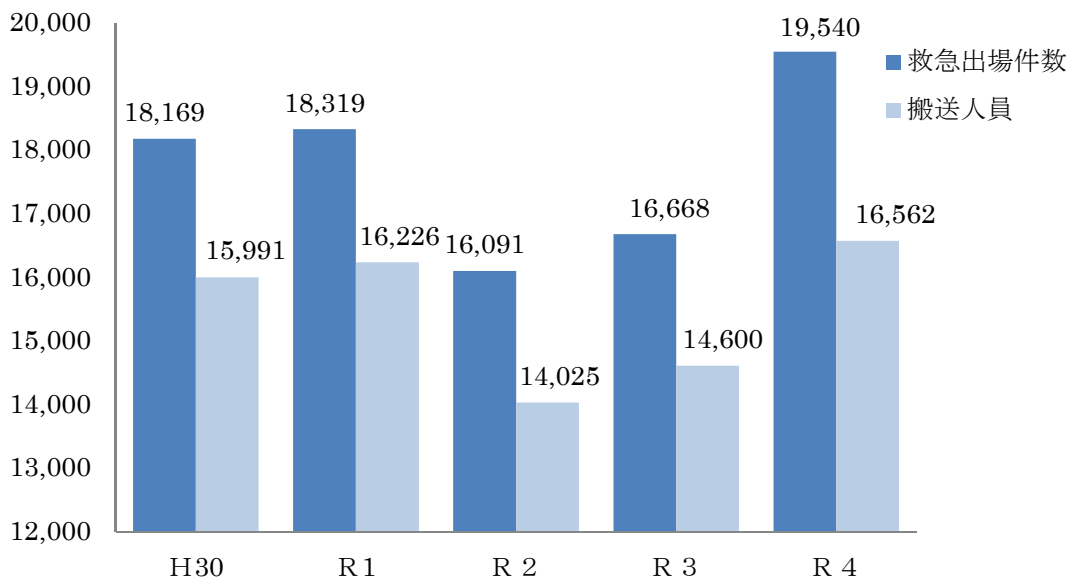
* 事故種別内訳の括弧内は搬送件数に対する割合

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合

* 増減率と割合については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(件・人) 過去5年間上半期の救急出場件数及び搬送人員の推移【図】



3 救急隊別活動状況

隊別		令和4年上半期		令和3年上半期		前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署 1	1,594	8.2%	1,570	9.4%	24	1.5%
	本署 2	1,512	7.7%	847	5.1%	665	78.5%
	田名	888	4.5%	709	4.3%	179	25.2%
	淵野辺	1,386	7.1%	1,266	7.6%	120	9.5%
	緑が丘	1,223	6.3%	1,158	6.9%	65	5.6%
	上溝	1,170	6.0%	944	5.7%	226	23.9%
南署	本署 1	1,566	8.0%	1,427	8.6%	139	9.7%
	本署 2	365	1.9%	313	1.9%	52	16.6%
	新磯	693	3.5%	575	3.4%	118	20.5%
	大沼	1,302	6.7%	1,214	7.3%	88	7.2%
	相武台	1,299	6.6%	1,091	6.5%	208	19.1%
	上鶴間	1,254	6.4%	1,111	6.7%	143	12.9%
北署	本署	1,160	5.9%	1,027	6.2%	133	13.0%
	大沢	883	4.5%	639	3.8%	244	38.2%
	相原	992	5.1%	889	5.3%	103	11.6%
	城山	889	4.5%	716	4.3%	173	24.2%
津久井署	本署	480	2.5%	397	2.4%	83	20.9%
	派出所	526	2.7%	445	2.7%	81	18.2%
	藤野	252	1.3%	248	1.5%	4	1.6%
	青根	106	0.5%	82	0.5%	24	29.3%
計		19,540	100%	16,668	100%	2,872	17.2%

* 構成比と増減率については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 相模原本署2は令和3年3月末まで日勤救急隊、令和3年4月から24時間運用開始

* 南本署2は日勤救急隊

4 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		令和4年上半期		令和3年上半期		前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	11,168	67.4%	9,800	67.1%	1,368	14.0%
2	一般負傷	2,457	14.8%	1,944	13.3%	513	26.4%
3	転院搬送	1,353	8.2%	1,348	9.2%	5	0.4%
4	交通	1,062	6.4%	1,060	7.3%	2	0.2%
5	自損行為	157	0.9%	123	0.8%	34	27.6%
6	労働災害	121	0.7%	93	0.6%	28	30.1%
7	その他	93	0.6%	86	0.6%	7	8.1%
8	運動競技	84	0.5%	85	0.6%	△1	△1.2%
9	加害	56	0.3%	51	0.3%	5	9.8%
10	火災	10	0.1%	10	0.1%	0	0.0%
11	水難	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
12	自然災害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		16,562	100%	14,600	100%	1,962	13.4%

* 構成比と増減率については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

5 年齢別搬送人員

年齢区分	令和4年上半期		令和3年上半期		前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児	44	0.3%	57	0.4%	△13	△22.8%
乳幼児	734	4.4%	584	4.0%	150	25.7%
少年	546	3.3%	509	3.5%	37	7.3%
成人	5,473	33.0%	4,988	34.2%	485	9.7%
高齢者（65歳以上）	9,765	59.0%	8,462	58.0%	1,303	15.4%
合計	16,562	100.0%	14,600	100.0%	1,962	13.4%

* 構成比と増減率については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。